

# 町長に直接質問しました 中学生議議会

授業の中で学んでいた町議会について、実際の町議会議場で町長に質問をぶつける「中学生議議会」が沼田町議会主催で、11月1日（水）役場3階議場で行われました。

沼田中学校3年生は、実際の町議会のように調べてきた資料を町長に提示しながら質問し、町長は一つ一つ丁寧に回答していました。

## ■沼田町の人口問題について

鈴木沙和 議員

今後、人口減少に歯止めを掛けるために、若者が沼田町に住み続けたいと思うような魅力的な働き口を増やしてほしいです。

## 町長回答

「田舎暮らしの本（宝島社）」では住みたい田舎ランキング人口一万人未満のまちで5年連続の北海道一位、全国でも4つの全部門で1位となり、沼田町の知名度は徐々に上がってきていると思います。これは、住んでいる町民のみならず、このまちに誇りを持ち、様々なところで沼田町をPRしてくれているからです。

沼田町では、「子育て満足度日本一」を目指し、移住していただ

けるようにいろいろな取り組みを実施しておりますので、是非町のPRをよろしく願います。

また「魅力的な働き口」を増やすため、企業誘致活動や「ぬまわーくサポートデスク」という無料の職業紹介所を役場内に設置し、「地元に残り、頑張っていきたい人」や「沼田町に移住して生活をしていきたい人」をサポートする体制を取っています。

皆さんが「沼田町に残って町の発展に貢献したい」と思っていただけのようなまちづくりや「働いてみたいと思ってもらえるような働く場の創出」に全力で励んでいきたいと考えていますので、皆さんの応援とアイデアの提案をよろしく願います。

## ■不足する施設について

野田優心花 議員

友達や家族とワイワイできるようなミニ道の駅の設置や暮らしの安心センター内でのイベントや交流会を開いてほしいです。

## 町長回答

「道の駅」については、建設には多大な費用が必要であり、場所の問題や何よりお土産品や当地グルメなどの開発に取り組み必要があることから、すぐに設置というのは難しいですが必要な施設だと思っています。

その上でご質問にある「友達や家族とワイワイできるような場・イベントや交流会」という意味では、7月から11月まで毎月1回「沼ルシエ」という駅前イベントを開催したり、10月には沼田駅前や本通などを会場とした「秋のにぎわい産業まつり」を開催するなど、様々な行事を行っています。

また、暮らしの安心センターでは、多くの町民の方にお越しいただいている「みんなの食堂」などのイベントを継続的に開催しながら、町民の様々な年代との交流が



図れるような演奏発表会、キッチンカーなどによる食に関する飲食販売イベントなど、気軽に安心センターにお越しいただけるようなイベントを開催していきたいと考えております。

中学生の皆さんからもイベント開催について意見やアイデアをいただければと思いますのでよろしくお願ひします。

## ■体育施設の老朽化について

栗中 徠 議員

体育施設を全部作るの難しいので、まずは、中学校体育館の老朽化が激しいので最初に直してほしいです。

## 町長回答

町民体育館や中学校体育館は建設から50年以上経過しており、改築の必要性は理解しておりますが、現在の人口規模や町の予算に見合ったレベルの施設にしなければいけないと考えています。

2つの体育館を別々に建て替えて、新たな施設を建設することは難しく、より多くの町民の要望に合うものになるような視点から考えてベストな選択をしなければいけないと考えています。

体育館の改築にはもう少し時間が必要なのでその間、修理が必要な箇所は支障のないように対応し

ていきます。

また、暮らしの安心センターにあるトレーニング機器の利用やその他、様々なスポーツ施設も含め、活用し、運動能力を高めていただけたらありがたいです。

今後も色々な利用の仕方やより使いこなすためのアイデア・手法などもありましたら提案いただきたいと思っています。

## ■福祉の拡充について

大山 凛人 議員

介護士の負担を減らすために沼田町全体で助け合いながら生活していつてほしい。介護士には、若手の人材と男性の人材が少ないので介護士を多く雇ってほしいです。

## 町長回答

介護士の仕事は、自宅や施設で生活する高齢者の方々の身の回りのことを支えるために、町内の様々な場所で活躍をしています。「はあとふる沼田」という事業

では近所の高齢者の方々にに対し、そつと声を掛けたり手助けに繋がるような「気付き」が生まれ、その「気付き」の中で、病気や介護の予防・早期発見をする事により、人手不足の介護士の仕事の負担も軽減できると思います。

また、介護士の技術の向上や知

識の向上のため研修を行い、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいます。

更に、町内の高齢者施設ではICTの導入により、WiFiを整備し、見守り機能の強化や介護職員への負担軽減を図るため介護補助ロボット等を導入しながら、利用する高齢者が快適で、介護士の負担が軽減できるように、業務の効率化にも着手しています。

興味がある方は、ぜひ介護の仕事を見学に来て、介護、福祉の仕事に興味を持っていただき、将来介護士としてこの町で働いてくれることを願っています。



## ■中学校に必要なもの

塩田 禅 議員

エレベーターを設置することは難しいと思いますが、WiFiの増設などは今後、学習活動をしていく中で不便だと感じる場合があると思うので早めに直してほしいです。

## 町長回答

エレベーターのご要望は昨年もありましたが、昨年の要望の中から優先すべきはエアコンと判断し、まずはエアコンを整備させていただきました。

中学校のWiFiは平成24年から整備しており、令和元年度にはさらに改修を行っていますが、令和2年度にGIGAスクール構想が本格的にスタートし、また同じ時期に新型コロナウイルスが流行したこともあり、一人一台端末の実現が加速しました。

ICTは、日進月歩で進化しており、情報化の急速な進展もあり、データ通信量や接続台数が増えていることが要因で動作が遅いと思われる場合があります。

現在、調査していますので、早急に対策を講じたいと思います。